

---

令和4年度 文部科学省委託事業  
「専修学校による地域産業中核的人材養成事業」  
専修学校と業界団体との連携によるDX人材養成プログラム

熊本モデルを全国へ  
～注文式教育システムの観光業界DX人材養成プログラム～  
【事業報告の抜粋版】

---

令和5年3月

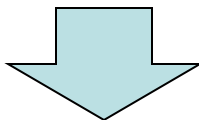
本報告書は、文部科学省の教育政策推進事業委託費による委託事業として、学校法人イデア熊本アジア学園 イデアITカレッジ阿蘇が実施した令和4年度「専修学校による地域産業中核的人材養成事業」の成果をとりまとめたものです。



学校法人イデア熊本アジア学園  
専門学校イデアITカレッジ阿蘇

# 専門学校アイデアITカレッジ阿蘇(IICA) R4年4月に南阿蘇村に開校

- ①熊本地震から6年、ソフトの復興、学生を阿蘇に再び呼び戻す。  
熊本県、及び南阿蘇村（敷地、建物を無償貸借）の全面的支援
- ②日本人と外国人が共に学び、技人国で企業に就職して、日本・地方に定住する仕組みが必要。
- ③2030年には、日本で最大79万人のIT人材が不足する。  
熊本県内でもIT人材を企業が求めている。



◎IICAの人材像 「阿蘇から“世界”へ」  
自ら機会を創り出し、機会によって自らを変え、  
自分と世界を幸せにする人材を育成する

◎IICAの目指す学校  
進化し続ける、永遠に完成しない学校である  
～企業・地域・社会と共に変化・挑戦することを許容する学校づくり～

# 専門学校アイデアITカレッジ阿蘇 (IICA) の概要(1)

## ITの専門力×人間力×国際性 の人材育成プログラム

- ・法人： 学校法人アイデア熊本アジア学園
- ・名称： 専門学校アイデアITカレッジ阿蘇
- ・代表： 理事長 井手修身
- ・住所： 熊本県阿蘇郡南阿蘇村大字河陽4518番地
- ・開校： R4年4月6日
- ・学科： ◇ITソリューション学科 定員 40人  
◇グローバルITビジネス学科 30人



# IICAの概要(2) 2つの学科 ITをベースにする

## ITソリューション学科

	<1年> 基礎を習得	<2年> 活用方法を習得・実践	※印：必修科目 無印：必修(共通)
IT基礎	※プログラム基礎、開発プロセス	※設計ドキュメント	
	※オブジェクト指向プログラミング		
	※データベース基礎		
	※データベース設計		
	※ITインフラ、セキュリティ基礎		
	※Webシステム基礎		
	※Webプログラミング		
	※AI・データ分析基礎	★コンテンツエンジニアリング	
		★クラウド技術	
		★AI・データ分析応用	
IT応用・実践	★データビジネス企画		
	★開発演習、アクセス分析	★EC設計	
		★セキュアアプリ開発	
		★システム運用管理、ブリッシュSE	
	※卒業制作		
	★注文式インターンシップ		
	ITの基礎、MS Office		
	農業・観光の基礎		
	阿蘇×DX(農業・観光×IT)		

卒業後の人材像  
↓

**セキュアアプリ開発者**  
セキュリティ攻撃を防御する専門知識をもつプロ

**ITシステム管理者**  
さまざまな業務・業種のITインフラを支えるプロ

**AIエンジニア**  
データの収集・分析・ビジネス活用をリードするプロ

**コンテンツエンジニア**  
ITを駆使した効果的な情報発信を実践するプロ

**IT (プログラム、システム) を設計する、作る、運用する人材**

## グローバルITビジネス学科

	<1年> 基礎を習得	<2年> 活用方法を習得・実践	※印：必修科目 無印：必修(共通)
国際活用	※観光マーケティング		
	※観光マーケティング応用		
	※観光ガイド概論		
	※黒川温泉特別フィールドワーク		
	※プレゼンテーション		
	※Business English		
	※Accuracy & Fluency (英語)		
		※EC基礎・実践	
		※施設マーケティング	
		※インバウンドマーケティング	
国際活用・実践	※ホテル・ホスピタリティ	※デジタルマーケティング	
	※観光ガイド実習	※通訳案内士	
	★EC設計		
	★注文式インターンシップ		
	ITの基礎、MS Office		
	農業・観光の基礎		
	阿蘇×DX(農業・観光×IT)		

卒業後の人材像  
↓

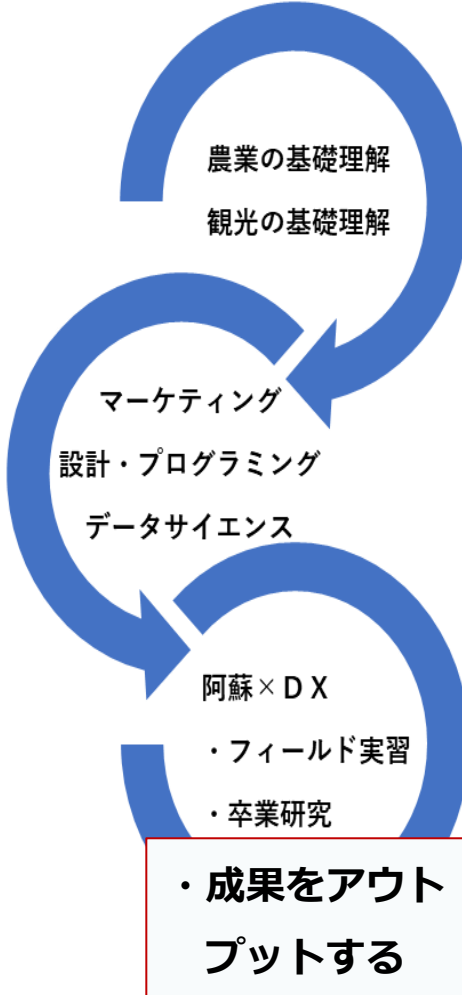
**宿泊・観光施設の入社リスト**  
ホテルや旅館、レストランなどの観光施設において、接客サービスから予約管理、企画やマーケティングまで幅広いタスクを行うプロ

**OTAの営業・広報**  
ITを武器に、オンライン予約サイトなどプラットフォームで観光業を支えるプロ

**地域観光の企画・広報・マーケティング**  
地域に根ざし、イベントの企画やマーケティング、地域プロモーションを担うプロ

**通訳・翻訳・ガイド**  
外国語を駆使し、通訳やガイド

**ITを活用して、マーケティングや観光サービス業に活かす人材**



◎1期生33人(ITソリューション学科:23人、グローバルITビジネス学科:10人)

# IICAの概要(3) 4つの特徴



企業からの直接的なニーズや  
教育課程を取り入れる  
「注文式教育」

約半数の講師が企業の方。注文式教育企業は  
45社以上と提携済。

IT企業、観光業（宿泊施設、DMO等）



少人数クラスによる  
一人ひとりに合ったサポート

一人一人に  
あったサポート  
体制



国際学生や地域住民との  
交流による、ダイバーシティ

日本学生・国際学生がともに学ぶ。

国際学生10人（インド、ネパール、中国、ミャンマー、フィリピン、5か国）



阿蘇の環境を最大限活用した  
フィールドワーク

現場で生きる  
スキルを  
現場で学ぶ



# 熊本モデルを全国へ～注文式教育システムの観光業界DX人材養成事業～

## (1)本事業の背景・目的

### ■取り組む背景

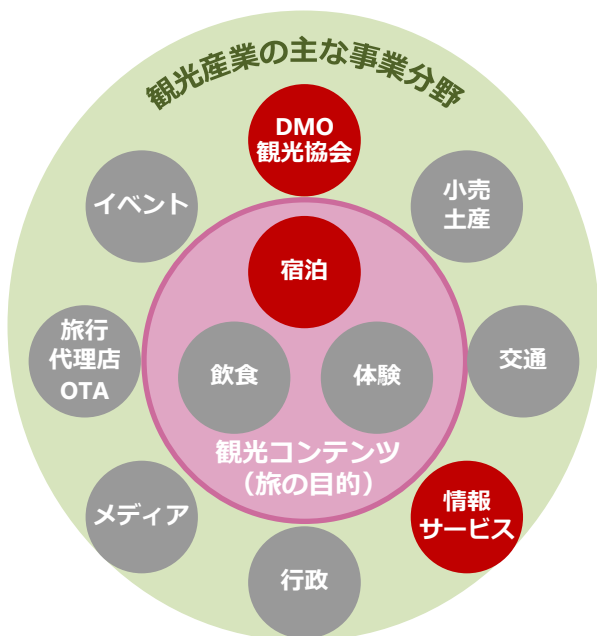
- ・観光産業は、慢性的な人材不足に陥っており、その課題は低い労働生産性と現場のデジタルスキル人材不足に挙げられる。取り分け地域の観光産業を担う、観光コンテンツ(宿泊)分野、エリアマネジメント(DMO)分野、これを支援する情報サービス分野は、DX人材ニーズのポテンシャルが高い分野であるといえる。
- ・2022年4月に開校した、専門学校アイデアITカレッジ阿蘇(IICA)は、ITと観光サービスの人材を育成するため、企業と連携する「注文式教育システム」を導入し、観光業界と情報サービス業界の人材を輩出していくことに取り組んでいる。

### ■本事業の目的

- ・アイデアITカレッジ阿蘇(IICA)は、熊本県内の観光業界の観光コンテンツ(宿泊)分野、エリアマネジメント(DMO)分野、これを支援する情報サービス分野の団体と連携して、熊本県内の観光DX人材を養成することを目指す。

令和4年度は、熊本県内の業界団体に「IT導入と人材ニーズ調査」を実施し、観光業界と情報サービス業界のIT導入の状況を明らかにし、DXの取り組みをリードする人材を養成するDX人材の養成プログラムを開発する。

令和5年度には、アイデアITカレッジ阿蘇で授業の実証事業を行い、令和6年度以降には、本事業の成果物を全国の専修学校、企業・団体等で活用できるよう普及、展開していく。



### 観光産業の中でも、本事業で特に着目すべきDX人材ニーズを持つ分野

- ① 雇用創出力は高いが労働生産性が著しく低い、宿泊業を中心とする **観光コンテンツ分野(宿泊施設)**
- ② 専門性が高度化してDX人材需要に供給が追い付いていない **エリアマネジメント分野(DMO、観光振興団体)**
- ③ 観光事業に精通し、外からDXアイデアとテクノロジーを持ち込む **情報サービス分野(観光業を支援するIT企業)**

#### 【注文式教育システム】

・企業が求める人材のニーズに応じて、授業・教育カリキュラムを展開し、最終的には学生の就職に繋げていく企業と連携した教育の仕組み。企業と毎年、状況をヒアリングしながら講師派遣、カリキュラム提供や中長期インターンシップ受入れを行っていく。

#### 【DMO】

・Destination Management/Marketing Organization

地域の多様な関係者を巻き込みつつ、科学的アプローチを取り入れた観光地域づくりを行う舵取り役となる法人。観光庁が登録DMOとして認定している。令和4年10月28日時点全国 255法人。

# 熊本モデルを全国へ～注文式教育システムの観光業界DX人材養成事業～

## (2)-1 本事業の内容

### ■本事業の内容

- 各団体、企業のIT導入と人材ニーズ調査 県内160事業者  
3つの分野の企業に対して、ITの導入状況と、DXに関する理解度を把握する共に、DX人材のニーズを把握する。
- DX人材養成プログラム(カリキュラム開発・シラバス・教材)の開発 10のシラバス開発  
業界団体・企業が求める人材に必要なDXの基礎的なスキルと応用スキルを明確化して、専門学校用のDX人材養成プログラム(カリキュラム、シラバス、教材)を開発する。
- 実証講座の実施、熊本から全国へ展開  
実施モデルのプロトタイプを構築し、令和5年度に、実際にDX人材養成プログラムをイデアITカレッジ阿蘇で、実証講座として実施する。  
令和6年度以降、本事業の成果物を全国の専修学校、企業・団体等で活用できるよう普及、展開していく。

観光コンテンツ分野  
【宿泊施設】

- 熊本県旅館生活衛生同業組合
- 一般社団法人日本旅館協会

エリアマネジメント分野  
【DMO、観光振興団体】

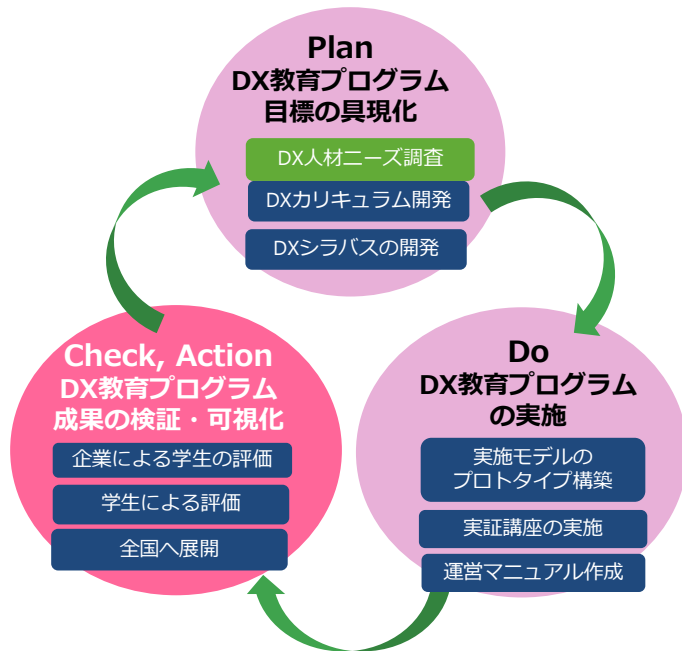
- 一般社団法人みなみあそ観光局
- 公益社団法人熊本県観光連盟
- 黒川温泉観光旅館協同組合

情報サービス分野  
【観光業を支援するIT企業】

- 熊本県情報サービス産業協会
- 南阿蘇ITバレー協議会

くまもとDX推進コンソーシアム  
(熊本県デジタル戦略局)

### DX教育プログラムの実現のPDCAサイクル図



【事業主体】  
・学校法人イデア熊本アジア学園

◆DX人材開発・実施部会: 構成員

- ・熊本県旅館生活衛生同業組合
- ・一般社団法人みなみあそ観光局
- ・熊本県情報サービス産業協会
- ・黒川温泉観光旅館協同組合
- ・学校法人赤山学園
- ・熊本県デジタル戦略局

# 熊本モデルを全国へ～注文式教育システムの観光業界DX人材養成事業～

## (2)-2 DX人材ニーズアンケート調査 設計【宿泊施設、DMO・団体】

■御宿泊施設のIT化（IT導入・IT活用等）の現状と今後についてお尋ねします。

各項目で該当するものをプルダウンしてください。

(1)集客、予約、PR	
①	OTA（オンライン・トラベル・エージェント）の導入
②	自社でSNSの運用（写真・動画の作成、広告運用）
③	自社サイトの運営・更新、SEO対策、ベストレートの運用
(2)チェックイン、顧客管理	
④	紙ベースの宿泊台帳をiPad等に変更
⑤	PMSの導入（宿泊予約、販売価格、残室数、清算等の情報を一元管理）
⑥	顧客情報のデータベース化（CRM）の活用
⑦	ロボットによるフロント業務、自動チェックイン/チェックアウト
(3)サービス改善、顧客満足向上	
⑧	Wi-Fi整備とタブレット端末の活用
⑨	風呂・食事処の混雑情報共有システムの導入
⑩	配膳ロボットの選定、導入、運用
(4)会計、勤怠管理	
⑪	会計・表計算ソフトの活用
⑫	会計と給与計算システムの連携
⑬	クラウド型基幹システムの導入
(5)DXへの取組や関心について：DX（デジタルトランスフォーメーション）とは、単なるよる作業の効率化ではなく、デジタル技術によって、人々の生活がより良くなるような変存の価値観を覆す技術の革新がもたらされることを意味します。	
⑭	AIを活用し、複数の宿泊施設や観光事業者と連動したサービスの開発や創出
⑮	他産業（農業、福祉、医療）と連携した、新たなビジネススキームの開発や創出
⑯	現実と仮想の世界を融合して疑似体験を提供する等の新たな宿泊体験コンテンツ創出

■御宿泊施設の現在、将来の人材ニーズについてお尋ねします。

各項目で該当するものをプルダウンしてください

(1)求められる人材の職種	
①	客室係（ベッドメイキングや掃除、食事の配膳）
②	接客・給仕・ホール（飲食時のサービスをする）スタッフ
③	調理師、厨房のスタッフ
④	フロント、企画、マーケティング業務のスタッフ
⑤	①②④客室係、接客、フロント業務を並行して複数できるマルチスタッフ
(2)IT利活用の人材について：今後ITを活用して、WEBの動画・写真の編集や多言語化をしたり、顧客データを分析してサービス向上を図るなどの人材（④⑤に該当するスタッフ、マルチスタッフ）が重要であるとされています。IT利活用人材についてお尋ねします。	
IT利活用のスタッフの有無や必要性について	
⇒上記質問で、IT利活用人材は必要であり、従業員を育成したい、又は今後採用したいと回答した方にお尋ねします。どのようなスキルや知識が必要と考えられますか。	
[対課題]情報収集、分析力	[対課題]企画発想、計画力
[対課題]業務遂行力	[対課題]マーケティング力
[スキル]ビジネス英語力	[スキル]パソコン活用
[スキル]SNSの活用・集客	[スキル]動画・写真編集
[スキル]ビッグデータ収集・解析	[スキル]セキュリティ知識

■現在、専門学校イデアITカレッジ阿蘇では、IT活用を学んで客室係、接客、フロント、企画、マーケティング業務ができるIT利活用人材（スタッフ、マルチスタッフ）を育成しています。

各項目で該当するものをプルダウンしてください。

イデアITカレッジ阿蘇のHP→ <https://iica.jp/>

(1)既存従業員へのIT利活用の人材育成について	
既存従業員へのIT利活用のための人材育成プログラムについて	
(2)IT利活用人材の新規採用について	
①	アルバイト・パートとしての採用
②	専門学校等の新卒の社員採用
③	経験を積んだ中途での社員採用

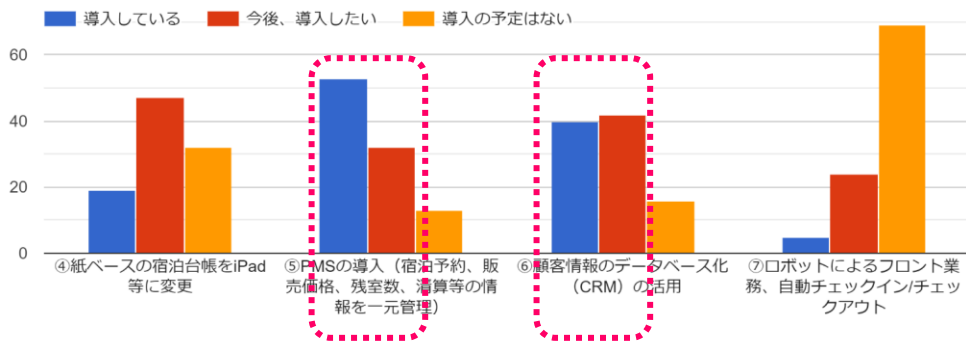


# 熊本モデルを全国へ～注文式教育システムの観光業界DX人材養成事業～

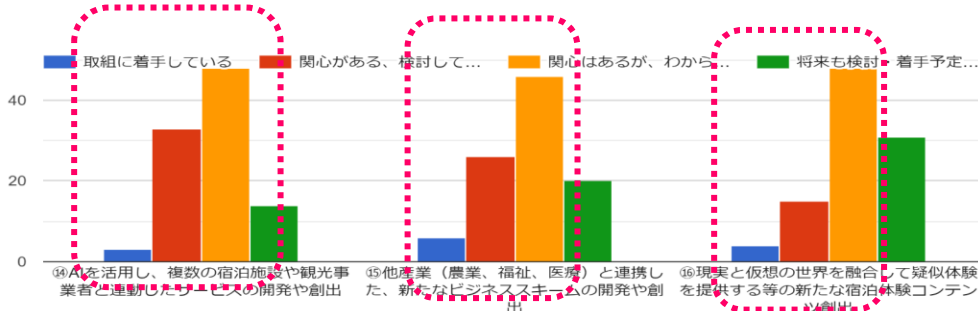
## (2)-2 DX人材ニーズアンケート調査 IT導入についての項目【宿泊施設、DMO・団体】

### 宿泊施設のIT導入についての調査

(2) チェックイン、顧客管理



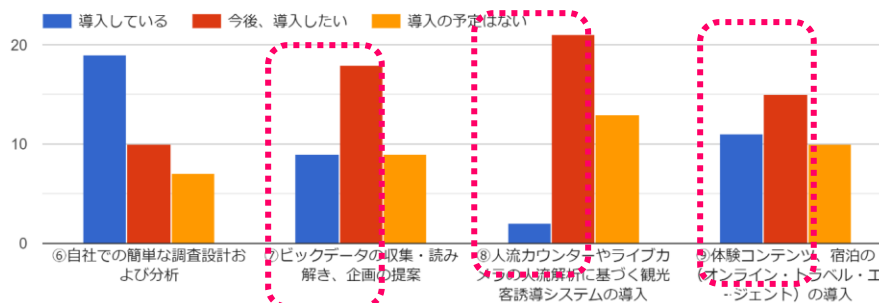
(5) DXへの取組や関心について DX（デジタル...覆す技術の革新がもたらされることを意味します）。



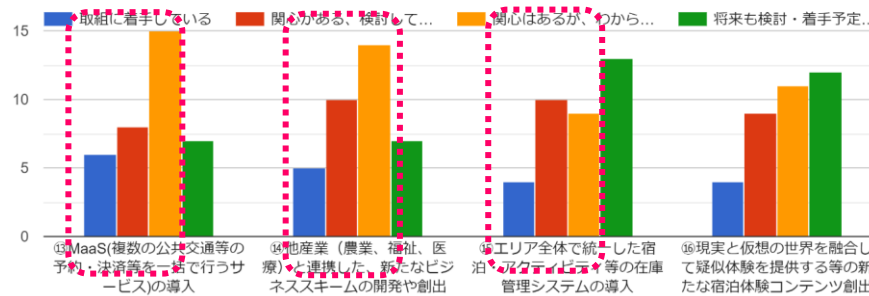
宿泊施設では、DXへの取組や関心について、ほとんどが取り組めていない、関心はあるが、正直どう取り組んで良いかわからない。

### DMO・観光振興団体のIT導入についての調査

(2) マーケティング、テクノロジーサービスの導入



(4) DXへの取組や関心について DX（デジタル...覆す技術の革新がもたらされることを意味します）。

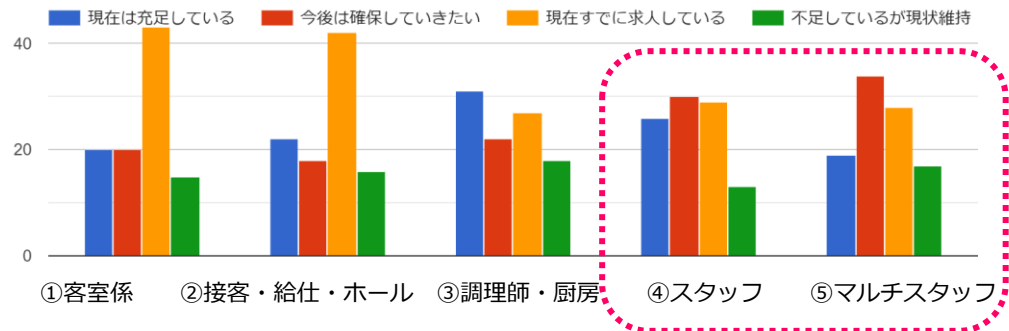


DMO・観光振興団体では、一部はDXへの取組み着手、検討していきたいが半数以上はある。

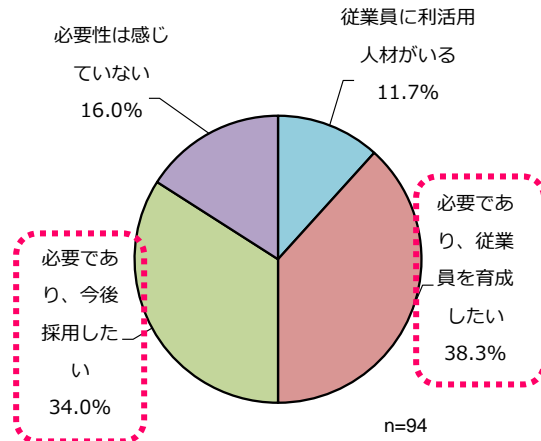
# 熊本モデルを全国へ～注文式教育システムの観光業界DX人材養成事業～

## (2)-2 DX人材ニーズアンケート調査 ①観光コンテンツ分野【宿泊施設】

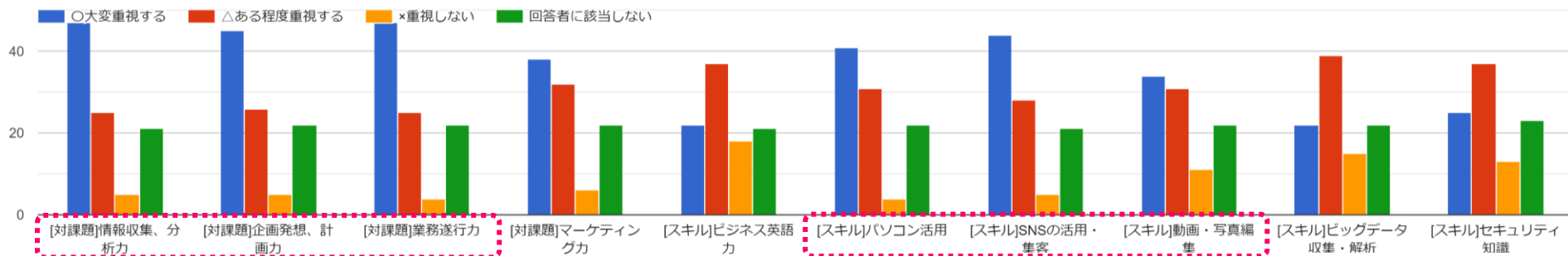
求めている人材の職種



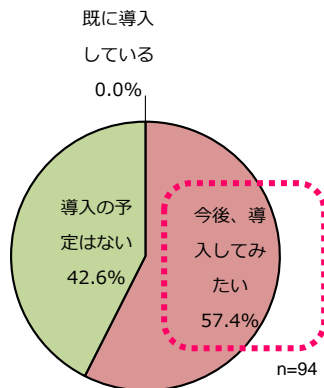
IT利活用のスタッフの有無や必要性



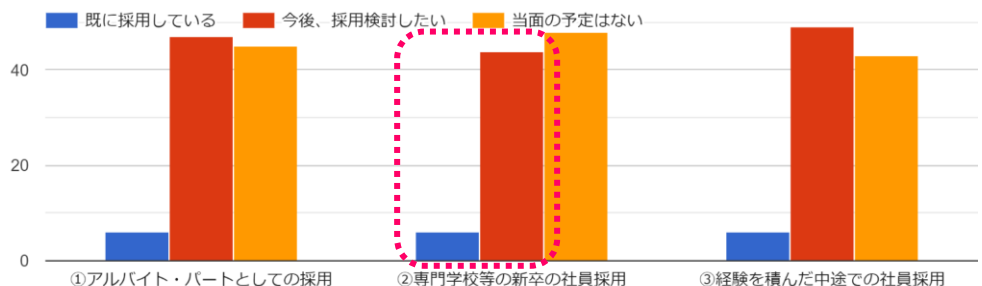
従業員の育成、採用で、どのようなスキルや知識が必要か。



既存従業員へのIT利活用の人材育成プログラム



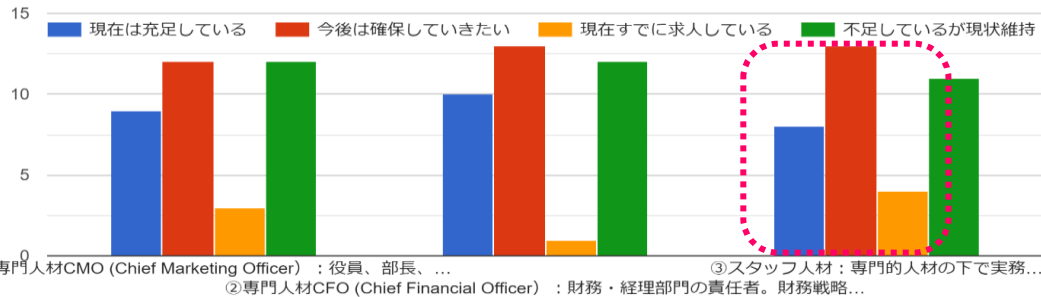
IT利活用人材の採用について



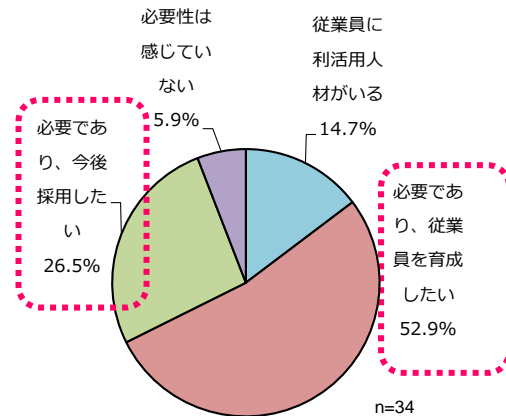
# 熊本モデルを全国へ～注文式教育システムの観光業界DX人材養成事業～

## (2)-2 DX人材ニーズアンケート調査 ②エリアマネジメント分野【DMO・観光振興団体】

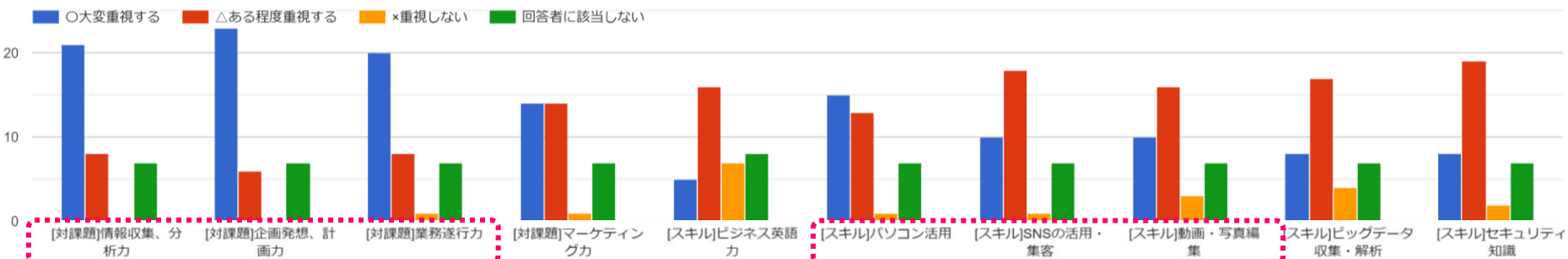
### 求めている人材の職種



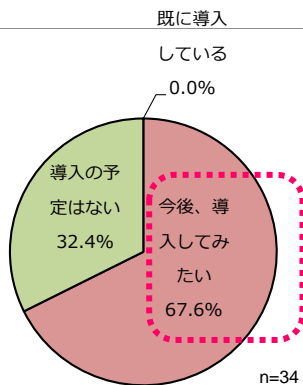
### IT利活用のスタッフの有無や必要性



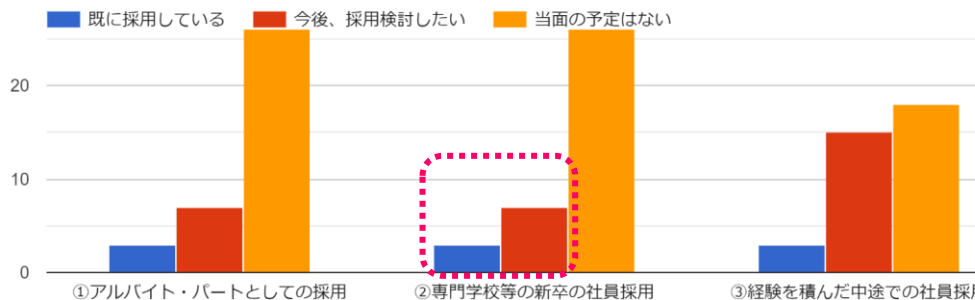
### 従業員の育成、採用で、どのようなスキルや知識が必要か。



### 既存従業員へのIT利活用の人材育成プログラム



### IT利活用人材の採用について



# 熊本モデルを全国へ～注文式教育システムの観光業界DX人材養成事業～

## (2)-2 DX人材ニーズアンケート調査設計 ③情報サービス分野(観光業を支援するIT企業)

■御社におけるDX人材ニーズについてお尋ねします。

各項目で該当するものをプルダウンしてください

(1) 求められる人材の職種についてお尋ねします。

①	開発エンジニア (要件定義・基本設計・システム運用テスト)
②	開発エンジニア (詳細設計・プログラミング・単体結合テスト)
③	Webデザイナー・フロントエンドエンジニア
④	保守エンジニア (ネットワーク・サーバ管理)
⑤	クラウドエンジニア (クラウド利用・各種環境構築・仮想化)
⑥	フィールドエンジニア (現地サポート)
⑦	データエンジニア (IoT・データ収集・クレンジング・可視化)
⑧	データサイエンティスト (モデル設計・構築・解析)
⑨	データビジネスデザイナー (仮説定義・検証)
⑩	セキュリティエンジニア (設計・検証・評価・対策)
⑪	DXビジネス企画 (ソリューション提案)
⑫	上記以外 ( )

(2) 社員を採用する際に求める能力や性格、スキルについてお尋ねします。

[対課題]情報収集、分析力	[対課題]企画発想、計画力
[対課題]業務遂行力	[対課題]判断力
[スキル]プログラミング知識	[スキル]セキュリティ知識
[スキル]テスト・開発プロセス知識	[スキル]ネットワーク知識
[スキル]ビッグデータ収集・解析	[スキル]統計・数学知識
[スキル]デジタルマーケティング知識	[スキル]ドローン利活用知識
その他 重視する項目 ( )	

(3) 御社の観光業界への関わりについてお尋ねします

現在、観光業へのIT支援ビジネスを行っていますか?	
今後の観光業へのIT支援ビジネスについて考えをお聞かせください	
上記の理由を教えてください ( )	

■現在、専門学校イデアITカレッジ阿蘇では、ITの基礎知識を学んだプログラマ、SE、セキュリティ、データエンジニア人材を育成し、2024年3月には、卒業予定です。  
各項目で該当するものをプルダウンしてください。

イデアITカレッジ阿蘇のHP- <https://iica.jp/>

(1) 既存従業員へのIT人材育成について

既存従業員へのIT人材育成プログラムについて	
------------------------	--

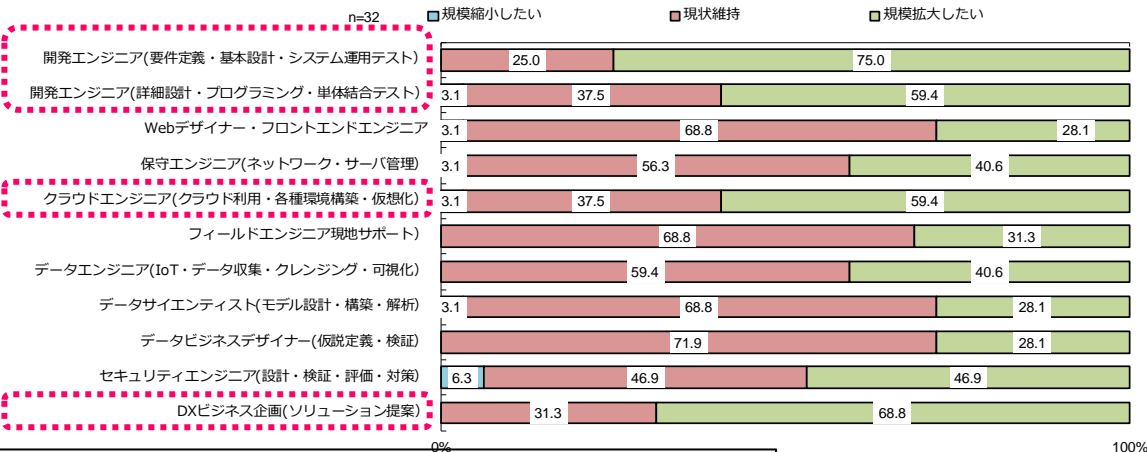
(2) IT人材の新規採用について

i 採用意欲について	
① 専門学校の新卒の社員採用 (2024年3月卒業)	
② アルバイト・パートとしての活用	
③ インターンシップ生として中～長期の受け入れ	
④ 専門学校卒業後、経験を積んで中途での社員採用	

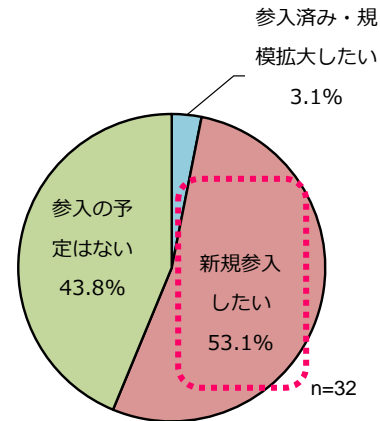
# 熊本モデルを全国へ～注文式教育システムの観光業界DX人材養成事業～

## (2)-2 DX人材ニーズアンケート調査 ③情報サービス分野(観光業を支援するIT企業)

### 求めている人材の職種

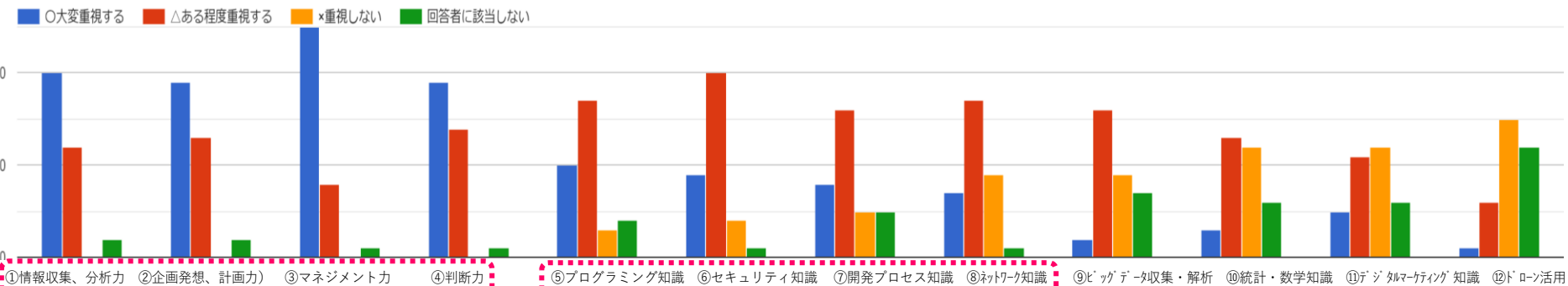


### 今後の観光業へのIT支援ビジネスへの参入

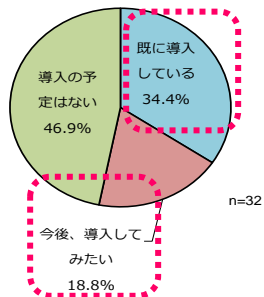


N=33

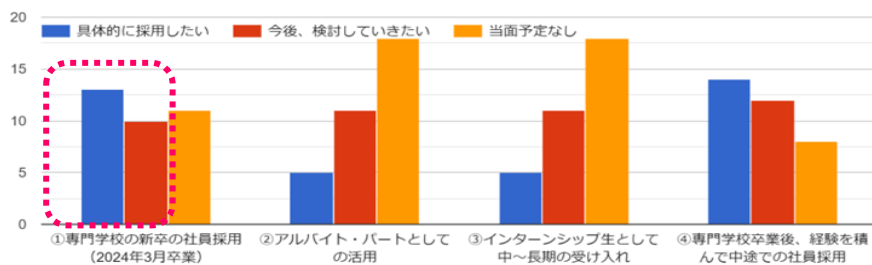
### 従業員の育成、採用で、どのようなスキルや知識が必要か。



### 既存従業員へのIT活用の人材育成プログラム



### IT利活用人材の採用について



# 熊本モデルを全国へ～注文式教育システムの観光業界DX人材養成事業～

## (2)-3 DX人材ニーズ ヒアリング調査

### ■3つの分野のヒアリング調査のまとめ

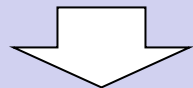
調査名	①観光コンテンツ分野【宿泊施設】	②エリアマネジメント分野【DMO・観光団体】	③情報サービス分野（観光業を支援するIT企業）	DX人材ヒアリング事例調査④
目的と手法	アンケート調査結果の中から、3つの分野で、先進的にIT導入・IT活用に関する取組みを行い、かつDX（デジタル、IT利活用）人材を活用、又は採用したいという意欲のある事業者に対して、求められる人材の職種と求める能力や性格、スキルの関係性、取分け、専門学校の新規採用に求める人材要件を対面式・ヒアリング形式で行う。また、専門学校で行うDX（デジタル、IT利活用）人材のカリキュラムについてヒアリングを行う。			④専門学校の観光DXに関するカリキュラムやシラバスの事例を把握する。
実施数	①宿泊事業者、6社	②DMO、観光振興団体、5件	③情報サービス事業者 6件	専門学校 3件
調査対象	いこい旅館、湯峡の響き 優彩、御客屋旅館、松屋 本館、阿蘇 蘇山郷、陣屋（予定）、	くまもとDMC、みなみあそ観光局、黒川温泉観光旅館協同組合、ASO田園空間博物館、高千穂観光協会（予定）、	ソフトウェアビジョン(株)、(株)システムフォレスト、(株)九州ソフト、(株)熊本計算センター、(株)HTS、(株)藤本物産、	観光学科、情報サービス学科を有してデジタル人材育成を行う・検討している専門学校
求める人材の職種と能力、スキルの関係性	<p>【職種】◎客室係、接客、フロント業務を並行して複数できるマルチスタッフ人材。</p> <p>【能力、スキル】重要視◎[対課題]情報収集、分析力、業務遂行力、企画発想、計画力、[スキル]マーケティング力、SNSの活用・集客、動画・写真編集力である。</p>	<p>【職種】◎スタッフ人材：専門の人材の下で実務を行う職員。企画・営業できるプランナー人材。</p> <p>【能力、スキル】重要視◎[対課題]情報収集、分析力、業務遂行力、企画発想、計画力、[スキル]マーケティング力、SNSの活用・集客、ビッグデータ収集・解析力。地域観光マーケティングに必要なスキル。</p>	<p>【職種】◎開発エンジニア ◎フロントエンドエンジニア ◎クラウドエンジニア ◎フィールドエンジニア ◎データエンジニア ◎セキュリティエンジニア ◎DXビジネス企画と人材が多岐にわた</p> <p>【能力、スキル】重要視◎[対課題]・情報収集、分析力、企画発想、計画力、業務遂行力、判断力 重要視○[スキル]プログラミング知識、セキュリティ知識、テスト・開発プロセス知識、ネットワーク知識、ビッグデータ収集・解析、デジタルマーケティング知識、</p>	<p>◎専門学校の理事長、教務部へのヒアリング</p> <p>*観光DXの理解、認識、</p> <p>*IT利活用人材の必要性</p> <p>*IT利活用人材に関するカリキュラム、シラバスへの反映</p> <p>*学生の企業への就職状況</p> <p>*企業との連携状況</p>
専門学校の新卒学生に求める人材要件	<p>◎専門学校のIT利活用人材は採用したい。</p> <p>◎ローテーション人事で、マルチタスク人材を育成していくプログラムがある。</p> <p>◎コミュニケーション力、継続できる習慣、チームで働ける力が必要。</p> <p>◎課題解決力+マーケティング力、動画・写真編集力は重要である。</p>	<p>◎専門学校のIT利活用人材は採用したい。</p> <p>◎スタッフ人材で、マーケティング力特にSNS、デジタルマーケのスキルがほしい。</p> <p>◎コミュニケーション力、継続できる習慣、チームで働ける力が必要。</p> <p>◎インバウンドも増えてくるので、英語力もあれば良い。</p>	<p>◎専門学校のIT利活用人材は採用したい。</p> <p>◎スキルとして、一定のプログラミング知識、ネットワーク知識等は必要である。</p> <p>◎より課題解決力、情報収集やヒアリング力。人間力、コミュニケーション力を大事にしている。○熊本、地場で働きたいという思考。</p> <p>○スペシャリストよりゼネラリスト（知識や技術が広範囲にわたる）思考を望む。</p>	<p>④観光学科、情報サービス学科を有してデジタル人材育成を行っている・検討している専門学校のIT利活用人材プログラム導入への課題や方向性を明らかにする。</p>
専門学校のDXカリキュラムへの反映	<p>◎ロジカルシンキングは重要。</p> <p>◎課題解決型&amp;価値創造型の実践演習。</p> <p>◎内部人材だけでは難しい。外部ITサービス企業を活用するのが現実的。</p>	<p>◎ロジカルシンキングは良い。</p> <p>◎課題解決型&amp;価値創造型 実践演習</p> <p>◎現場での実行力とマインドを鍛える実践型フィールドワーク。</p> <p>◎外部ITサービス企業と連携して、観光DXの企画等を行っていきたい。</p>	<p>◎ロジカルシンキング、課題解決型&amp;価値創造型 実践演習は良い。</p> <p>◎現場での実行力とマインドを鍛える実践フィールドワーク。</p> <p>・ドローン活用</p> <p>・AI実務（Chatbot、OCR、顔認証、等）</p> <p>・顧客管理（CRM）システム設計</p>	<p>既存のカリキュラムにどの様にDXカリキュラムを付加させていくか、また新規のDXカリキュラムを導入する際の教員、教材、学習指導計画等に反映する。</p>

# 熊本モデルを全国へ～注文式教育システムの観光業界DX人材養成事業～

## (2)-2 DX人材ニーズ調査から見てきた概要

### ■DX人材ニーズ調査から見てきた3つの分野カリキュラムの基本方針

- ・3つの分野①観光コンテンツ分野、② エリアマネジメント分野、③ 情報サービス分野に共通する能力スキルでは、課題解決力(業務遂行力、判断力、情報収集、分析力、企画計画力)を重要視する。  
また、ベースとしてコミュニケーション力(社会的スキル)、習慣化でできる継続力を重要視する。
- ・ ①観光コンテンツ分野、②エリアマネジメント分野では、マーケティング力、SNSの活用・集客力、デジタルマーケティング知識、動画・写真編集力といったIT利活用のスキル項目が必要である。
- ・ ③情報サービス分野では、プログラミング知識、セキュリティ知識、ネットワーク知識といったITスキルとデジタルマーケティング知識などのIT利活用スキルを一定程度を求める。



- ・ ①観光コンテンツ分野、②エリアマネジメント分野はIT利活用の類似科目が多いので、1つのコースとする。③情報サービス分野は、ITスキルの科目として別立てのコースとする。
- ・ 科目は、ITを習得するのに必要な【基礎編】、それを元にステップアップする【応用編】、フィールドワークを取り入れる【実践編】の3段階で構成する。
- ・ 課題解決力、業務遂行力(プロジェクトをやりきる力)を高めるため、地域の特性を活かしたプロジェクト型科目「阿蘇×DX」を取り入れる。
- ・ 現場レベルで役に立つもの(「PR&SNS実践」、「ECビジネス」、「動画・写真編集」など)を科目に入れる

# 熊本モデルを全国へ～注文式教育システムの観光業界DX人材養成事業～

## (3)-1 DX人材養成プログラム(カリキュラム・シラバス)の開発案

新規の科目

既存の科目

IT利活用コース

- ①観光コンテンツ分野
- ②エリアマネジメント分野

ITソリューションコース  
③情報サービス分野

ビジネス開発演習

観光ビジネスDX(プロジェクト型)

阿蘇×DX II(プロジェクト型実践)

ドローン利活用

ECビジネス(実践)

PR&SNSマーケティング実践

テクノロジーと業務効率化

動画制作・編集

施設・観光地マーケティング

デジタルマーケティング

阿蘇×DX I(ロジカルシンキング)

ITビジネス基礎

IoTとデータ利活用

セキュリティ診断・応用

データベース設計

プログラミング構築

データベース基礎

プログラミング基礎

実践編

応用編

基礎編



# 熊本モデルを全国へ～注文式教育システムの観光業界DX人材養成事業～

## (3)-2 DX人材養成プログラム(カリキュラム・シラバス)の開発

新規の科目 12科目

各科目のシラバスを作成し、R5年度には、5本の教材を開発し、実証授業を行う予定。

	DX養成科目	区別	利活用コース	ソリューションコース	科目の概要
1	ITビジネス基礎	基礎編	○	○	経営・マーケティング、プロジェクトマネジメント、ITテクノロジーの基礎を満遍なく学ぶ
2	阿蘇×DX I (ロジカルシンキング)	基礎編	○	○	DXやテクノロジー導入のベースとなる、ロジカルシンキング、現場の観察・分析手法、課題解決のためのフレームワークを、フィールドワークも交えながら習得する
3	動画制作・編集	応用編	○	○	プロモーションの一環として日常的にSNSやYoutubeにアップする動画を、スマホ撮影と簡単な編集作業(カット、テロップ、BGMとSEなど)で制作する
4	テクノロジーと業務効率化	応用編	○	○	業務効率化の目的とゴールを学び、各種ツール実習をおこなう(OCR・RPA・リモート接続・クラウドデータアクセス管理ツールなど)
5	PR&SNSマーケティング実践	応用編	○		プレスリリースの書き方、SNS(Instagram、Facebook、Twitterなど)の運用方法、投稿内容(写真撮り、文書作成)、SNS広告のかけ方(A/Bテストや予算策定)を学ぶ
6	ECビジネス(実践)	実践編	○	○	観光地と消費者を結ぶECビジネスについて、GMOカラーミーショップを使ったサイト制作、広報、在庫管理、決済、発送の一連の作業をロールプレイしながら実践的に学ぶ
7	ドローン利活用	実践編	○	○	ドローンの動作原理を学んだうえで、手動・自動操縦の実習をおこなう 取得したデータについて観光・農業での活用の具体例を学び、操縦士免許を取得する
8	阿蘇×DX II (プロジェクト型実践)	実践編	○	○	DXやテクノロジー導入のケーススタディとして、現場観察・課題抽出から分析を行い、仮説を立ててモックアップを作成し、提案をまとめるという一連の行程を実践する
9	観光ビジネスDX(プロジェクト型)	実践編	○		宿泊施設におけるOTAやPMS、観光地経営(DMO)におけるデータ収集と分析について基礎を学び、それぞれテーマを選んで実事例を調査しながら、運用・活用方法を習得する
10	ビジネス開発演習	実践編	○		ビジネスへの理解を深めるべく、ビジネスモデルの事例を知る。また任意の企業を選んで「経営とテクノロジーの活用」の観点からより深いビジネス分析をし、レポートにまとめる。
11	セキュリティ診断・応用	実践編		○	脆弱性の種類や特徴を学び、脆弱性診断・対処および診断レポートの書き方を実習する
12	IoTとデータ利活用	実践編		○	データ収集・蓄積・分析・利活用について学び、フィールドで実践する